

地域への取り組み

社会貢献・CSR(企業の社会的)活動

社会貢献活動は地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域社会への貢献活動

当行では、役職員による募金と銀行からの寄付金で基金を造成する「りゅうぎんユイマール助成金」を通じて、地域の社会福祉活動や環境保全活動を支援しており平成29年度上期は17団体に対し、253.2万円の助成金を贈呈しました。

また、当行およびりゅうぎんグループ・友好会社8社では、身近に素晴らしい海がありながらも直に触れ合う機会が少ない障がい者の方々、ご家族を中心にマリンスポーツ、レクリエーションを通じて共に生きる共生社会の拠点づくりを目的に開催された「海あしびなーSUNフェスタ2017」へ特別協賛いたしました。

このほか、社会福祉活動に取り組んでいる団体等へ助成する「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」や沖縄県の国際化を推進する事業等へ助成する「一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団」の事務局としてその運営に携わっています。

人材育成への支援活動

毎年夏休み期間中に小学5・6年生を対象として「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。15回目となる今年度は、ゲームを通じて経済の仕組みやお金の流れ、銀行の仕組みを楽しく学習する「経済教室」や、科学や環境に興味を持つきっかけ作りとなる「サイエンス教室」を開催しました。

また、当行では、琉球大学法科大学院の修了生を嘱託職員として採用し、司法試験合格までの支援をするリーガル・サポート制度を設けています。平成29年9月の司法試験合格発表では、当行のリーガル・サポート制度利用者1名が合格いたしました。

芸術文化支援活動

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域の追求を目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。入賞作品については、当行のカレンダーや通帳、広報物等に幅広く活用されています。

琉球銀行は今後も地域の銀行として、紅型の発展に貢献できるように努めてまいります。

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に当行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は737件、1億8,214.4万円となりました。(平成29年9月30日現在)



りゅうぎんユイマール助成金贈呈式



りゅうぎんキッズスクール(サイエンス教室)



りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式